学校番号	105

令和８年度　体育科

教科	専門体育	科目	武道演習Ⅱ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・武道の歴史とその理念、武道の変遷を学び、理解を深めよう。
・現代スポーツ科学と武道特有の稽古法を比較し、自身の競技につなげよう。
・剣道・柔道を学ぶ中で、技能だけでなく礼儀作法等を身につけ、専門科としての意欲・態度・技能を高めよう。
・自他の技能を観察分析することで、技能に対する興味関心を高め、技術の向上を目指す楽しさや、達成感を感じよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
武道の歴史と特性を学び、知識の習得をめざす。礼儀作法や基本動作を身につけて技術を高めるとともに相手を尊重する態度を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
武道と現代社会の関りや、現代スポーツとグローバル化について思考を深め、自身の考えを取り入れながら意見を表現することができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
我が国固有の伝統と文化である武道について興味関心を持ち、自発的に課題に対して取り組み、主体性をもって学習に取り組むことができる力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・武道の歴史、文化的な特性などについて学び、それに関する様々な課題に対して理解し、答えることができる。 ・技能の習得および向上に取り組み、知識と技能を身に付けることができる。 ・活動の合理的な実践を通して、特性に応じた段階的な技能を身につけている。 ・技の名称や見取り稽古の仕方、活動を行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。	・武道について様々な視点から理解を深め、自己や仲間の課題に応じた練習方法を選択したり、地震と仲間とでそれぞれの意見を述べたりするができる。 ・学習で得た知識や成果を自ら応用、発展させる技能の向上をめざしている。	・武道について興味関心を持ち、積極的に取り組んでいる。 ・健康や安全を確保して主体的に取り組もうとしている。 ・課題に対し、自ら工夫を取り入れて理解を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	武道の歴史を学ぶ・剣道	武道の起源と変遷 現代社会と武道の関り 武道の理念 剣道	a:(知)武道の起源と変遷、特性について理解し、知識が身についている。 (技)剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防ができる。 b:現代社会と武道の関りについて正しく理解し、考察をおこない自分の意見を発表したり、自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 c:武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート 課題 実技テス	観察 ワークシート 課題 実技テス	観察 ワークシート 課題 実技テス

2学期	武道の特性について考える　剣道・柔道	武道のグローバル化 武道とスポーツ科学 昇段制度と武道 剣道 柔道	a：(知)武道のグローバル化、武道とスポーツ科学について理解し、知識が身についている。 (技)柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。また、剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。 b：武道における昇段制度について、現在の状況と関連させながら正しく理解して考察をおこない、課題について自分の意見を発表することができる。 c:武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート 課題 実技テス	観察 ワークシート 課題 実技テス	観察 ワークシート 課題 実技テス
3学期	武道について理解を深める　柔道	武道の礼法 武道の稽古法 課題研究 柔道	a：(知)武道の礼法と稽古法について理解し、知識が身についている。 （技）柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。 b：課題研究の考察をおこない、課題について自分の意見をふまえながら、発表を行うことができる。 c:武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート 課題 実技テス	観察 ワークシート 課題 実技テス	観察 ワークシート 課題 実技テス

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度